

**製品名: CD105 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21593**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:70kD;Observed MW:95kD

**抗原情報**

遺伝子名	ENG
別名	ENG END
遺伝子 ID	2022.0
SwissProt ID	P17813
免疫原	ヒト CD105 の合成ペプチド

**背景**

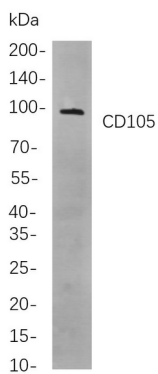
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、血管内皮細胞の主要な糖タンパク質であるホモ二量体膜貫通タンパク質をコードしています。このタンパク質は、形質転換成長因子  $\beta$  受容体複合体の構成要素であり、 $\beta 1$  および  $\beta 3$  ペプチドに高い親和性で結合します。この遺伝

子の変異は、オスラー・レンデュ・ウェーバー症候群 1 としても知られる、常染色体優性遺伝性の多臓器性血管異形成症である遺伝性出血性毛細血管拡張症を引き起こします。この遺伝子は、妊娠中毒症やいくつかの種類の癌にも関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013 年 5 月]

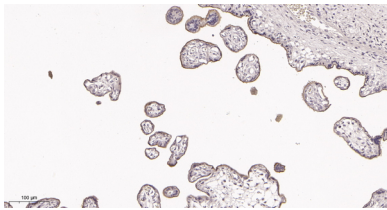
## 研究分野

-

## 画像データ



CD105 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト胎盤組織の免疫組織化学分析。1、CD105 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20 分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。